

ライティング評価研究の現在： メタ分析より得られた知見から

日時：7月31日（金）15:00～16:30

場所：愛知教育大学 第二共通棟 421（下地図参照）

対象：英語教師を目指す大学生・院生，現職の先生方

参加費：無料

講演者：小島ますみ先生



岐阜市立女子短期大学専任講師。静岡大学教育学部，社会人，愛知教育大学大学院（教育学修士），名古屋大学大学院（学術博士）を経て現職。ライティングや学習者コーパスの関連業績として、『英語学習者コーパス活用ハンドブック』（大修館書店，2013，分担執筆），Reliability of lexical richness measures based on word lists in short second language productions. *System*, 42, 23-33 (2014, 共著)，「リレー連載 語彙習得研究の現在第10回 語彙とライティング」『英語教育』（2008）他。現在、名古屋大学大学院の「言語統計学 a」の講師も務める。

講演の概要

ライティングは書き手の総合的な英語力や思考力が関わり，それを評価することもまた複雑な活動です。講演者は共同研究者とともに，世界中のライティング評価研究を集め，ライティング評価とかかわりの深い要因を分析してきました。本講演では，ライティング評価に関わる以下の疑問にわかりやすくお答えいたします。

- TOEFL ではコンピュータがエッセイの評価をすると聞きました。
コンピュータに人間のような評価ができるの？
- ライティングの内容と言語表現では，どちらがより評価にかかわるの？
- 総合的評価と，分析的評価の長所や短所は何？
- テクストのどんな特徴がもっとも強力にライティングの評価を予測するの？
- ライティングの評価は主観的で安定しない？
どうしたら一貫性のある評価ができるの？
- ベテランの教員と新任の教員では，
評価の際に重視する点が異なるの？

問い合わせ先

申込みは不要です。車でお越しになられる場合、正門の守衛所にてお手続きください。

愛知教育大学・外国語教育講座

藤原 康弘（[fujiwara\[at\]auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:fujiwara[at]auecc.aichi-edu.ac.jp)）

後援：中部地区英語教育学会・愛知地区

